

水泳競技会の再開時の感染拡大防止策チェックリスト

【選手・監督・コーチが順守すべき事項】

1 入館前

- 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館を見合わせる。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 「健康チェック表」に必要事項を記入し、持参すること。
- 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
- 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。

2 水泳場

- 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。
- 選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。
- チームごとに、選手控え場所・観覧席の人数制限を周知し、徹底すること。
- トレーナーズベッドは、許可された場合のみ、指定された場所で使用できる。
- 泳ぐとき以外はマスクを着用すること。（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）
- レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- 大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
- 唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- 飲食については、指定場所以外で行わないこと。
- ドリンクの回し飲みはしないこと。
- 飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。
- ミーティング等は控えること。
- 競技会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。

3 退館後

- 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。

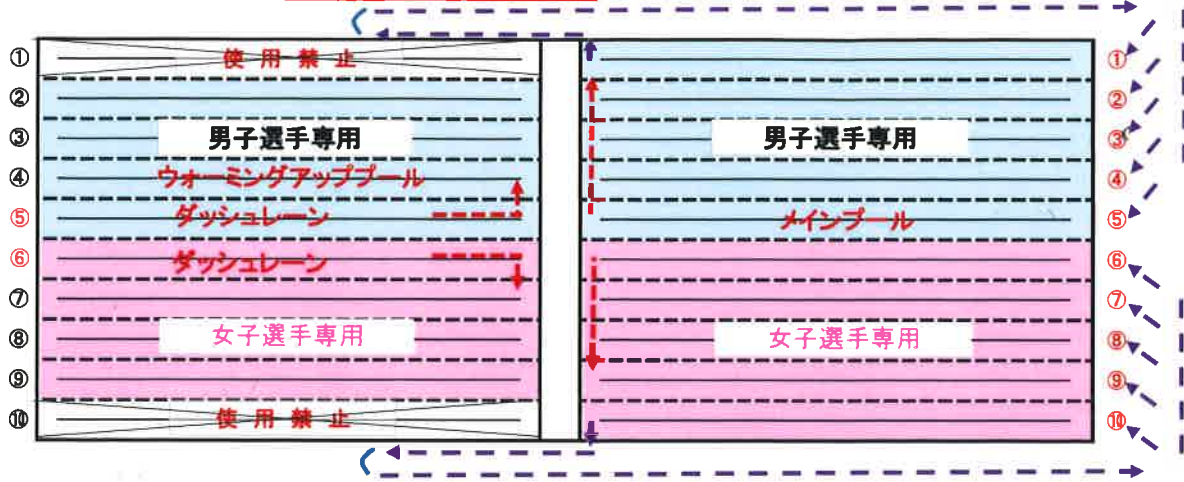
ウォーミングアップ時のレーン使用方法について(1日目)

『8時00分～競技終了後30分まで』

『1日目8時00分～8時40分』

【ウォーミングアッププール】 **ダッシュレーン以外飛込禁止**

【メインプール】



『8時00分～競技終了後30分まで』

【25mサブプール】 **飛込禁止**

公式スタート練習【試合本プール】

『1日目8時15分～8時40分』

【スタート練習時の注意事項】

・前の人とは1m以上の間隔をあげ、会話をしないで並んでください。

※朝にウォーミングアップ時につきましては大変混雑が予想されます。密回避のため、各自プールでのウォーミングアップを推奨します。

【ウォーミングアップ時の注意事項】

・練習道具はキックボード・プルブイ・スノーケル以外の使用を禁止します。

・ダッシュレーン以外は飛込禁止です。

・ウォーミングアップする前の必ずシャワーを浴びてください。

・レーンロープには乗らないでください。

・アップには必ずコーチが付き添ってください。

・水質保全のため、スイミングキャップの着用にご協力ください。

・更衣室混雑緩和のため、できるだけ水着を着用して来場ください。



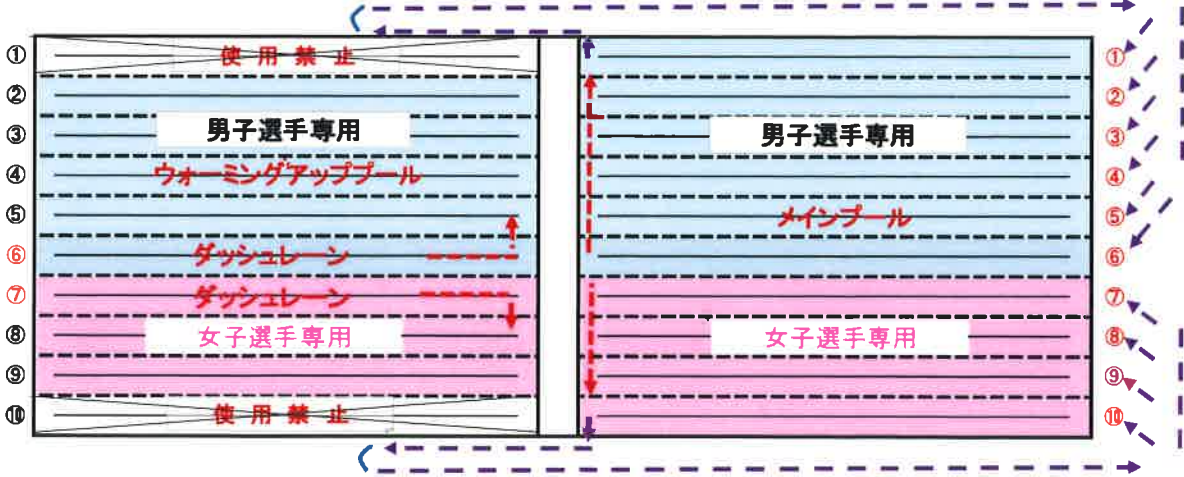
ウォーミングアップ時のレーン使用方法について(2日目)

『8時00分～競技終了後30分まで』

『2日目8時00分～8時45分』

【ウォーミングアッププール】 **ダッシュレーン以外飛込禁止**

【メインプール】



『8時00分～競技終了後30分まで』

【25mサブプール】 **飛込禁止**

公式スタート練習【試合本プール】

『2日目8時20分～8時45分』

【スタート練習時の注意事項】

・前の人とは1m以上の間隔をあげ、会話をしないで並んでください。

※朝にウォーミングアップ時につきましては大変混雑が予想されます。密回避のため、各自プールでのウォーミングアップを推奨します。

【ウォーミングアップ時の注意事項】

・練習道具はキックボード・プルブイ・スノーケル以外の使用を禁止します。

・ダッシュレーン以外は飛込禁止です。

・ウォーミングアップする前の必ずシャワーを浴びてください。

・レーンロープには乗らないでください。

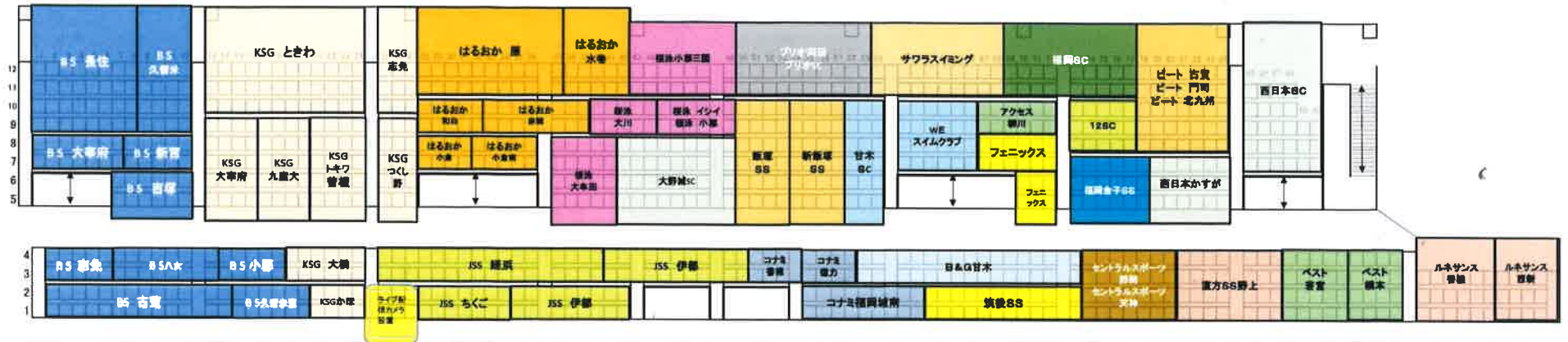
・アップには必ずコーチが付き添ってください。

・水質保全のため、スイミングキャップの着用にご協力ください。

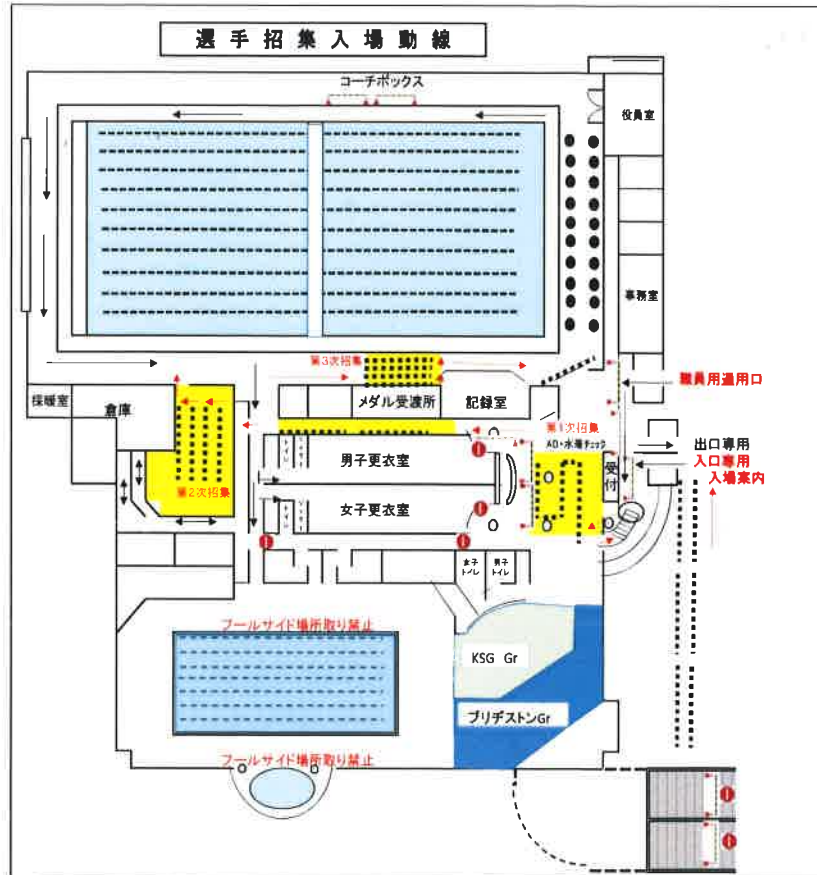
・更衣室混雑緩和のため、できるだけ水着を着用して来場ください。



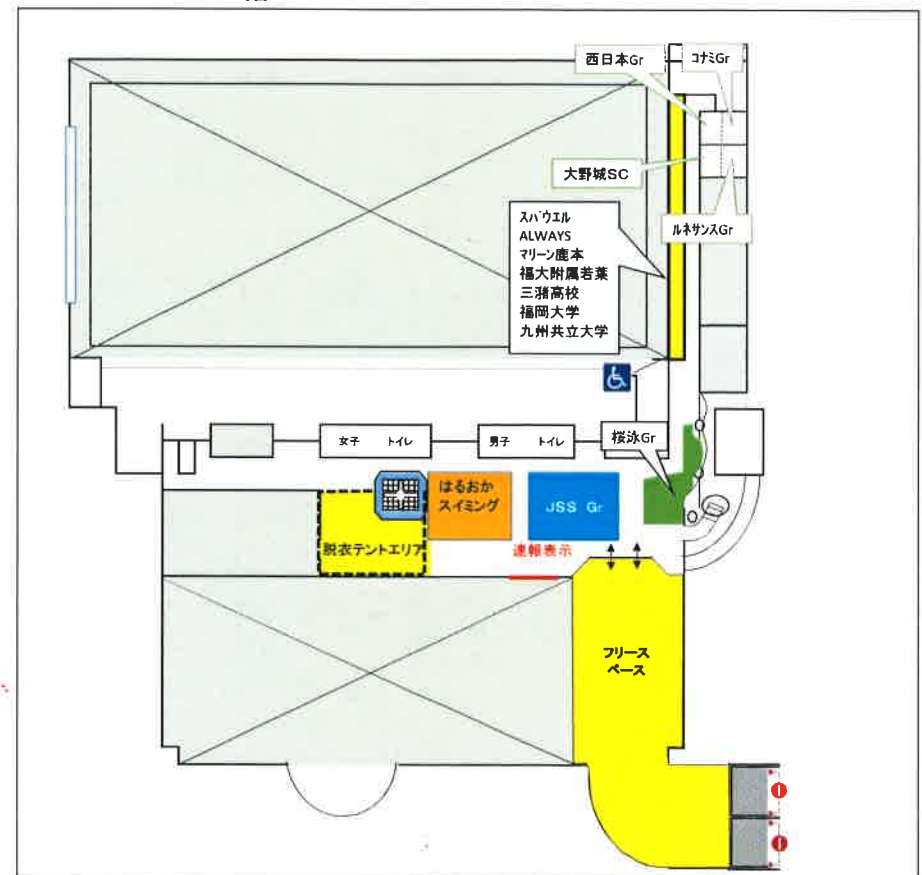
第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 福岡県予選会 【選手控場所および動線図】 1日目



1階



2階

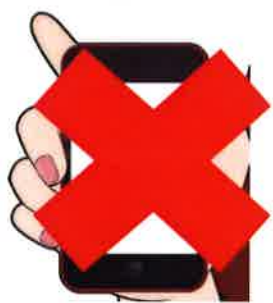


競 技 順 序

						「第1日」
No	性別	種目	区分名	組数	時刻	種目数
1	女子	200m 個人メドレー	12才以下	T決勝 10組	09:00	95種目
2	男子	200m 個人メドレー	12才以下	T決勝 9組	09:35	81種目
3	女子	4×50m メドレーリレー	12才以下	T決勝 1組	10:07	1種目
4	男子	4×50m メドレーリレー	12才以下	T決勝 1組	10:11	3種目
< 休憩約10分 >						
5	女子	50m 自由形	12才以下	T決勝 35組	10:25	341種目
6	男子	50m 自由形	12才以下	T決勝 34組	11:04	338種目
< 休憩約10分 >						
7	女子	200m 自由形	11～12才	T決勝 2組	11:50	14種目
8	男子	200m 自由形	11～12才	T決勝 2組	11:56	14種目
9	女子	100m 平泳ぎ	11～12才	T決勝 3組	12:02	25種目
10	男子	100m 平泳ぎ	11～12才	T決勝 4組	12:08	32種目
11	女子	100m バタフライ	11～12才	T決勝 2組	12:16	12種目
12	男子	100m バタフライ	11～12才	T決勝 2組	12:19	11種目
13	女子	100m 背泳ぎ	11～12才	T決勝 3組	12:23	22種目
14	男子	100m 背泳ぎ	11～12才	T決勝 3組	12:30	21種目
15	女子	100m 自由形	11～12才	T決勝 8組	12:36	72種目
16	男子	100m 自由形	11～12才	T決勝 8組	12:50	73種目
< 休憩約10分 >						
17	女子	50m 平泳ぎ	12才以下	T決勝 13組	13:15	124種目
18	男子	50m 平泳ぎ	12才以下	T決勝 12組	13:31	118種目
19	女子	50m バタフライ	12才以下	T決勝 15組	13:47	144種目
20	男子	50m バタフライ	12才以下	T決勝 14組	14:04	132種目
21	女子	50m 背泳ぎ	12才以下	T決勝 14組	14:20	133種目
22	男子	50m 背泳ぎ	12才以下	T決勝 11組	14:42	102種目
23	女子	800m 自由形	チャンピオンシップ	T決勝 1組	15:00	9種目
24	男子	1500m 自由形	チャンピオンシップ	T決勝 1組	15:11	9種目
25	女子	4×50m フリーリレー	12才以下	T決勝 1組	15:28	2種目
26	男子	4×50m フリーリレー	12才以下	T決勝 1組	15:32	3種目
競技終了予定					15:34	

※競技終了後にチャレンジレースを実施します。

スマホ・携帯・カメラ
など更衣室内への
持込禁止！



- ★更衣室内での撮影は禁止です。
- ★スマホ・携帯・カメラなど撮影機能のついた物は盗撮などの犯罪に使用される場合がありますので撮影目的でない場合は(SNS,通話等)でも更衣室内では絶対に使用しないでください。

- 不審な行動を目撃した場合は、競技役員・コーチにお知らせください。
- 違反行為を行った場合は警察に通報します。

(一社)福岡県水泳連盟

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り始める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを確立します。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

ドーピングって、なに？ なんでいけないの？

ドーピングとはフェアプレーの精神に反して、競技における運動能力の向上を目的として禁止物質を使用したり物理的な方法を用いたりすることです。また、チームスタッフ等が禁止物質の使用を企てたり支援したりする行為もドーピングの一種とされています。

スポーツの価値の根幹にはフェアプレーがあり、それを遵守する姿勢をスポーツマンシップと呼んで称賛します。スポーツに参加する選手全員がフェアプレーをすることによってはじめて勝敗の意味が生まれ、勝者と敗者がともに相手を讃え合う気持ちが湧いてきます。スポーツの価値として、日本アンチ・ドーピング規程（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構）には以下のようなものが列記されています。

- ・ 倫理観、フェアプレーと誠意
- ・ 健康
- ・ 卓越した競技能力
- ・ 人格と教育
- ・ 楽しみと喜び
- ・ チームワーク
- ・ 献身と真摯な取り組み
- ・ 規則・法を尊重する姿勢
- ・ 自分自身とその他の参加者を尊重する姿勢
- ・ 勇気
- ・ 共同体意識と連帯意識

このような素晴らしい価値をもつスポーツ活動はすべてフェアプレーの上に成り立っており、フェアプレーの精神に反するドーピング行為は禁止されています。



ドーピングが禁止される理由はもう1つあり、それは身体的な健康被害です。ドーピングで禁止している物質の多くは競技力向上と引き換えに健康を害します。せっかくスポーツをとおして健康なからだ、健康な精神を培ってきたのに、ドーピングによって両者ともはかなく崩れ去ってしまうのです。

ドーピングが禁止されているのは、一部のトップアスリートだけではないのです。小学生だって中学生だって、趣味として活動している中高年のスポーツ愛好家だって、「ずるいこと」をして試合に勝っても、すがすがしい達成感は生まれません。

さあ、これを読んだあなたがスポーツの価値を高めていく主役なのです。スポーツ活動をとおして、自分とスポーツを取り囲む文化を磨き上げていきましょう。